

第3回 議会運営委員会記録

1 日 時 令和3年3月25日(木) 午前9時30分 開会

2 場 所 議会委員会室

3 出席委員 8名

委員 長	佐藤 栄一	委員	霜鳥 榮之
副委員 長	高田 保則 (9:31~)	〃	天野 京子
委員	渡部 道宏	〃	阿部 幸夫
〃	八木 清美	〃	小嶋 正彰

4 欠席委員 0名

5 欠 員 0名

6 職務出席者 2名

議 長	関根 正明	副 議 長	堀川 義徳
-----	-------	-------	-------

7 説明員 0名

8 事務局員 3名

局 長	築田 和志	主 査	霜鳥 一貴
庶務係 長	堀川 誠		

9 件 名

1) 令和3年第2回妙高市議会定例会の運営について

○委員長(佐藤栄一) 定刻となりましたので始めたいと思いますが、高田議員がまだお見えになっていませんが、始めさせていただきます。ただいまから議会運営委員会を開会いたします。関根議長。

○議長(関根正明) はい。おはようございます。今ほど東京オリンピックの聖火がスタートしているところだと思います。コロナを克服してオリンピックが開催されれば幸いだと思っております。長い3月議会も、本日が最終日となりました。もうひとふんばり頑張りましょう。また、例年ですと、退職課長の送別会を兼ねた懇親会を開催するところではありますが、この時勢で仕方ないところですが、中止とさせていただきます。本日は、執行部より、付議案件のとおり、2月に開催した臨時会において補正となった新型コロナウイルスワクチン接種事業が国の方針変更により4月以降になったため、繰越し明許費の設定を行いたいとの内容の議案の提出がありました。本日はこの議案の審議方法について協議をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

1) 令和3年第2回妙高市議会定例会の運営について

○委員長(佐藤栄一) はい。それではレジメ1、令和3年第2回妙高市議会定例会の運営についてを議題とします。

①追加議案について及び追加議案の審議日程及び審議方法についてあわせて説明願います。局長。

○局長(築田和志) はい。おはようございます。それでは説明させていただきます。まず、①の追加議案についてです。レジメの裏面をごらんください。議案第28号令和2年度一般会計補正予算(第16号)です。今回の補正内容につきましては記載のとおりでございますが、当初、国では、2月からの医療従事者の先行接種費用につきまして、

令和2年度中に予算化するよう指示があったもので、2月の臨時会の補正として議決いただいたところです。その後、ワクチンの供給状況の見通しが立たないということから、令和3年度予算で対応するよう改めたものでございます。補正予算につきましては、減額補正をして、改めて令和3年度の予算として計上するのか、また、繰越しを認めるのか。国の結論が3月上旬までずれ込んだために、結果的に、繰越し明許費の設定ということで、最終日提案となったものでございます。次に②の追加議案の審議日程及び審議方法について御説明申し上げます。また表面にお戻りください。資料1ページの四角枠でございます。そこには、議会運営マニュアルでは、定例会における提出議案の議案審議は原則として所管委員会に審査付託するのが例であるとされています。また、ここに記載はございませんが、定例会において、委員会付託を省略し直ちに採決すべき議案の区分については、議運において決定することが例であるということにしております。そこで1)では委員会付託する場合の流れを記載しております。また2)では質疑回数制限なし、所管制限なしでの審議から即決とする流れとなっております。この点について御審議いただきたいと思っております。以上です。

○委員長(佐藤栄一) はい。1)の委員会付託をする場合ですが、本日の本会議の補正予算終了後の日程第4にて市長提案、質疑、建設厚生委員会付託、委員会審査終了後に委員長報告を行い、質疑、討論、採決となります。2)では、委員会付託せずに即決とする流れで、日程第4にて市長提案説明の後、質疑回数制限なし、所管制御なしで質疑を行い、即決という流れですが、委員の皆様のお意見を聞きたいと思っております。小嶋委員。

○小嶋委員(小嶋正彰) はい。緊急を要するという点でもありますし、内容については、十分、臨時議会等でも審議されておるといふふうに思いますので、日程等考え合わせれば、2の即決ということでもよろしいんじゃないかと思っております。

○委員長(佐藤栄一) はい。ほかにもございませんか。霜鳥委員。

○霜鳥委員(霜鳥榮之) はい。これは去る2月4日に内容的なものについては、もう十分に審議がなされてきているんですね。今回提案されているのは、繰越し明許の関係で、これも国の動向の絡みなんですね。地方自治体においては、どこでもこの中身が提案された時点で既に先の見通しが立たないってということで、繰越し明許そのものを国に要請したけども国がかたくなに拒否をしてきたっていうこういう流れのものなんですね。それをここでもって提案されるってことでありますので、内容的なものは審議されているし、それについて全体を通して不足の部分は全体でもって議論すれば、それでいいんじゃないかと私は思います。したがって今日即決でいいんじゃないかなということでございます。

○委員長(佐藤栄一) ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(佐藤栄一) ないようでしたら、それではお諮りします。追加提案を予定している議案第28号令和2年度新潟県妙高市一般会計補正予算(第16号)の審議方法及び日程については、本日の日程第4にて即決ということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」という者あり〕

○委員長(佐藤栄一) 御異議なしと認め、追加議案の審議方法及び日程については、このように取り扱います。ただいま決まりました議会運営委員会の結果については、時間の関係上、本日、全議員に傍聴をお願いしたことにより、全員協議会を開催したこととみなしますので御了承願います。それでは、その他何かございますか。小嶋委員。

○小嶋委員(小嶋正彰) はい。簡潔をお願いします。3月の議会を終えてみまして、議会改革について一歩さらに進めなければいけない点があるんじゃないかなというふうに思っています。前から積み残しになっておりました質問と質疑なんですけれども、一般質問の再質問、それから総括質疑、委員会質疑、いずれも同じような内容の同じよ

うなやり方ということで、やはり市民の皆さんから見て、ちょっと違和感があるんじゃないかなと。同じようなやり方で、主に課長が答え、いわゆる一般質問は市長に対する一般質問、市政一般を聞くものですので、せっかく市長が出てくるんですから、市長に対する質問というのがメインになるべきじゃないかなと。総括質疑も同様だと思います。そういった中で委員会では、逆に総括で出てきた質疑の残りをやるような形、場合によっては、それは総括質疑で、一般質問でお答えしました。なんていう回答になるわけですね。これではなかなか議論が深まらない。私は委員会は、時間の制限だとか発言回数の制限はありませんので、これはほとんどんやれる場だと。私は議会の主戦場だというふうに思っております。そういった意味から議論を深めるためには、委員会重視の質疑を行うべきではないかと。いろいろ課題があるかと思いますが、一般質問、総括質疑、委員会質疑、それぞれの意義を再度見直した中で、市民にわかりやすい目に見える議論ができるように改革をしていく必要があるんじゃないかというふうに思います。出来ましたら、ここは議会運営委員会ですが、議会運営委員会というのものなかなか難しいと思いますので、小委員会等を設けて課題の整理、それから、改善案等たたき台をつくっていただいて、そこでまた議運に戻して、今後どうしたらいいかっていうのを進めていただければありがたいなと。進めていく必要があるんじゃないかなというふうに思いますので、提案をさせていただきます。

○委員長（佐藤栄一） はい。今回の議運では昨年の8月に小委員会を設けて、いろいろな議論をしてきました。今年の1月27日の議運に経過報告、中間報告をさせていただきましたので、その中の積み残しの中に質問と質疑というのも入っています。そういったのを踏まえてまたやっていきたいと思いますが、ほかの皆さんの御意見ございませんか。霜鳥委員。

○霜鳥委員（霜鳥榮之） はい。今、小嶋委員のほうから発言ありましたけども、この方については、私も当初から、議運に入った、当初から、この方については提案してきております。しかし、そんな単純じゃないなっていうのはあるんですね。近々また小委員会も予定されているようでございますし、今回の議会では私も外部から見させていただきましたけれども、全くそのとおりという形でありまして、きちんと整理して、全協の中でお互いの意見交換をした積み重ねをしていかないと改善に結びついていかないなっていうことを感じて思っています。そんなことで、可能な限り早めの対応が必要じゃないかなと。以前はまああま的な部分が非常にあったんですが、今、テレビ放映されているっていう形で、本当に関心のある人はそれぞれの議会を比較しながら見ているっていう。こういう点もございまして。したがってそれぞれに議会として恥をさらすようなことのないように、あるいは、市民に対して、あるいは議会、当局とのやりとりの関係についても、きちんとした対応をしていく必要があるなということで議論をしていかなきゃいけない、急がなきゃいけないなと思っております。8月に私たちの改選もありますけども、その前にきちんとした形をつくって、私個人的には6月議会までに大まかな形をつくって、それでもって6月議会に挑戦するくらいなスタンスが必要ではないかと、いうふうに思っているくらいでございます。そのような取り計らいを今後していただければというふうに思います。時間の関係がありますので、先に言っていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○委員長（佐藤栄一） ほかの議員さんございますか、委員さん。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐藤栄一） ないようでしたら、ただいま意見いろいろいただきました。先日の新聞にも、長岡市議会が一般質問のルールを明文化するという記事が載っておりました。いろんな形の中で各議会が悩んでいるんじゃないかなというふうに思います。取りあえず、小委員会を開催して、この件については議論していきたいというふうに思っています。また小委員会の中では今、会議規則の改正で、欠席の取扱いについて、全国議長会のほうから話が来ております。それらについても議論をしていかなきゃいけないと思っておりますし、今、政務活動費がちょうど手続をす

るところですが、我々の政務活動費は政務調査費の時代のまんまになっているので、若干見直しをしていかないとこのコロナの時代、本を買ったり新聞を買ったりだけの、自分の勉強にだけしか使っていないようなところもあると思うんで、もう少しこの活動費として活発に使える方法を議論していかないといけないのではないかという点も思っております。そういうのを踏まえて、小委員会で議論して、それをまた議会運営委員会に諮っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたしますと思います。その他ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐藤栄一） ないようでしたら、これにて議会運営委員会を閉会いたします。御苦労さまでした。

閉会 午前9時44分

議会運営委員会委員長	
------------	--